

地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	鶴岡市 (06203)
地域名 (地域内農業集落名)	朝日_大鳥地区 (松ヶ崎、寿岡、繁岡、菅谷)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	39.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	39.4 ha
② 田の面積	38.8 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	6.7 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	6.7 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	
⑤のうち調整未了農地分 4.9ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】

- ・作物:水稲、わらび、ぜんまい、ジュンサイ、山ぶどう、ウド、うるい、かぼちゃ、みょうが、フキ、月山筍等
- ・当地区は山間部に位置する地域であり、水稲やわらびを中心とした山菜栽培のほ場が多い。
- ・サルやイノシシによる鳥獣被害も多くなっている。

【課題】

- ・高齢化や人口減少により担い手不足となっている。
- ・草刈り作業は、高齢化に伴って単身での作業は難しくなっている。
- ・山間地であることから地形的に水稲を拡大することは難しく、転作田として山菜等の栽培を継続していく必要があるが、補助金等の減額もあり経営が厳しくなっている状態である。
- ・湛水管理が必要なほ場については、稲作に代わる農作物への転換を検討していく必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・耕作中の場所は現状維持としながら、担い手対策のため集約化を検討する。
- ・耕作放棄地対策として中山間地域等直接支払交付金を利用する。
- ・わらびなど山菜栽培を中心としながら、りんどう等の花木やジュンサイ、地ビール用のとちの実、ホップ、鳥獣被害に強く水資源を利用したわさびやセリの栽培を目指す。
- ・「大鳥産」として農産物のブランド化実現に向けて取り組む。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現状維持としつつ、担い手を中心に農地利用を進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	23.6	%	将来の目標とする集積率 50.0 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
団地面積の拡大。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域の担い手や法人と協力し、山菜栽培を中心として将来的な集約化を目指す。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地所有者が遠方にいる場合も多く、活用メリットは大きい。集約化を進める場合は中間管理機構を利用していく。
(3)基盤整備事業への取組
当面は現状維持としながら将来的に検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
中山間地域への交付金等を利用しながら、農業者を確保していく。地域の特性に合った農業を継承しながら耕作放棄地対策も進めていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
ヘリ防除を継続して利用する。大型農機のリースやレンタルを要望していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①サル・イノシシ等による被害拡大防止のために防護柵を設置する。目撃・被害情報を猟友会等の関係機関へ連絡して速やかに対応する。
 ③スマートフォンを利用した水口の開閉などの水の管理を目指す。
 ⑦中山間地域等直接支払交付金を利用して農地の保全に努め、集積しやすい環境を整備する。
 ⑩6次産業や新たな特産品の生産への取組みをする。「大鳥産」として農産物のブランド化を目指す。地域外からの新しい情報の確保に努める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
		別紙のとおり	ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	26経営体		26.4 ha	0 ha		27.9 ha	0 ha		

注1「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3・農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積は、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

[illegible]

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

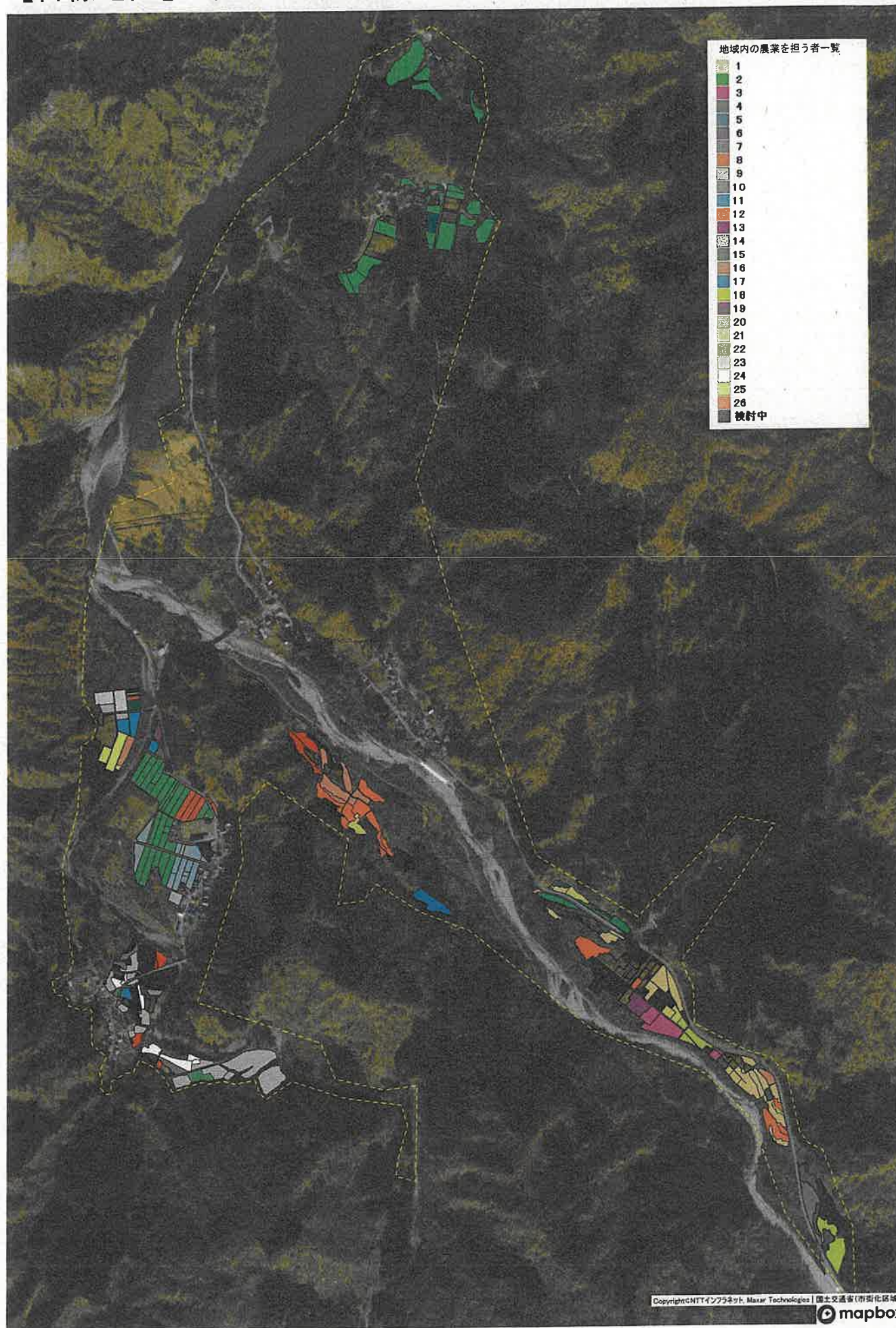
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	山菜	2.3 ha	ha	山菜	2.3 ha	ha	1	
2	利用者	山菜	0.5 ha	ha	山菜	0.5 ha	ha	2	
3	利用者	山菜	0.8 ha	ha	山菜	0.8 ha	ha	3	
4	利用者	山菜	0.3 ha	ha	山菜	0.3 ha	ha	4	
5	利用者	山菜	0.3 ha	ha	山菜	0.3 ha	ha	5	
6	利用者	山菜	0.0 ha	ha	山菜	0.0 ha	ha	6	
7	利用者	山菜、野菜	0.5 ha	ha	山菜、野菜	0.5 ha	ha	7	
8	利用者	山菜、野菜	0.5 ha	ha	山菜、野菜	0.5 ha	ha	8	
9	利用者	山菜	3.2 ha	ha	山菜	3.1 ha	ha	9	
10	利用者	山菜	0.4 ha	ha	山菜	0.4 ha	ha	10	
11	利用者	山菜	0.6 ha	ha	山菜	0.6 ha	ha	11	
12	利用者	山菜	0.3 ha	ha	山菜	0.3 ha	ha	12	
13	利用者	山菜	0.1 ha	ha	山菜	0.1 ha	ha	13	
14	利用者	水稲、山菜	1.5 ha	ha	水稲、山菜	1.6 ha	ha	14	
15	利用者	山菜	0.3 ha	ha	山菜	0.1 ha	ha	15	
16	利用者	水稲	0.7 ha	ha	水稲	0.7 ha	ha	16	
17	利用者	山菜	0.4 ha	ha	山菜	0.4 ha	ha	17	
18	利用者	山菜	1.1 ha	ha	山菜	1.1 ha	ha	18	
19	利用者	水稲、山菜	0.6 ha	ha	水稲、山菜	0.6 ha	ha	19	
20	利用者	山菜	1.3 ha	ha	山菜	1.3 ha	ha	20	
21	利用者	山菜	0.6 ha	ha	山菜	0.6 ha	ha	21	
22	認農	水稲、山菜	7.0 ha	ha	水稲、山菜	8.2 ha	ha	22	
23	利用者	山菜	0.5 ha	ha	山菜	0.5 ha	ha	23	
24	利用者	山菜	0.6 ha	ha	山菜	0.6 ha	ha	24	
25	利用者	山菜	0.0 ha	ha	山菜	0.5 ha	ha	25	
26	利用者	山菜	2.0 ha	ha	山菜	2.0 ha	ha	26	
27			ha	ha		ha	ha		
28			ha	ha		ha	ha		
29			ha	ha		ha	ha		
30			ha	ha		ha	ha		

【目標地図】 朝日 大鳥地区



地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	鶴岡市 (06203)
地域名 (地域内農業集落名)	朝日_大泉地区 (荒沢、鱒淵、上田沢、倉沢、下田沢、松沢、大平)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	126.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	126.4 ha
② 田の面積	119.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	7.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	6.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	6.1 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	
⑤のうち調整未了農地分 5.7ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】 ・作物: 水稻・そば・沖田なす・きゅうり・トマト・かぼちゃ・行者にんにく・わらび・うるい・ぜんまい・うど・たらの芽・こごみ・山ぶどう・月山筍・ミョウガ等 ・当地区は山間地であり、平場と比較すると条件が悪いため、他地区からの入作が期待できない。 【課題】 ・当地区では高齢化と後継者不足が課題となっている。 ・条件の悪い農地は林地に戻し、比較的条件の良い農地を地区の担い手で守る必要がある。一方、農地から除外しすぎると補助事業が減ることで一層の人口流出を招きかねない。 ・基盤整備の要望はあるが、将来、米農家の減少(受益者の減少)が見込まれるため、農家負担では実施することができない。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・条件の悪い農地は林地に戻し、比較的条件の良い農地を守っていく。その方法の一つとして、米価や利益率等を考慮しつつ、農地保全組合又は農事組合法人の組織化を検討する。 ・農地から林地に戻す時点でカエデや栃の木を植え、将来的にメイプルシロップや薪ストーブ用の薪として商品化を図る。 ・有機肥料や生ごみを材料にした堆肥の製造に取り組む。 ・きのこ類の生産性の向上を図る。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
条件の悪い農地は林地化し、条件の良い農地を担い手が耕作する。法人の立ち上げを検討し、集積・集約を目指す。畑地化を行う。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	14.8	%	将来の目標とする集積率 50.0 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
法人を立ち上げ、集積、集約化を行う。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
全農地の集積を目標とし、大泉地区で組織する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
契約期間が長期であるが、賃借料自動支払いは便利であり、これからも活用を増やしたい。法人化した場合も積極的に中間管理機構を活用する。
(3)基盤整備事業への取組
現在の基盤整備状況は、田1枚の面積が小さく、効率が悪い。中山間、多面的交付金事業の長寿命化を活用し、以下の基盤整備を少しずつ行う。・大泉地区:20a～30aサイズの圃場整備、大泉地区:重点的に水路を整備する、畑地化に向けた整備
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
農業の楽しさ、儲かることを実践し、若手育成を図る。女性就農者を積極的に増やしていく。農業体験を通して、意欲のある農業の担い手を発掘する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
土壌分析、地力測定、経営分析・サポート等を農協に委託する。大型農機のリース、レンタルを希望する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☒ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☒ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①小規模農地用の機器を導入してクマ、サル、イノシシへの対策を行う。
- ②有機肥料を製造し、活用する。余剰分は販売する。
- ③省力化に資するスマート機器及び栽培管理支援システムを導入する。
- ④大泉米を輸出する。
- ⑥製造業者と連携して燃料、資源作物の栽培を検討する。山林等を整備し、カーボンクレジットを販売する。
- ⑦条件の悪い農地は保全管理する。
- ⑧法人化に伴う農業施設を整備する。
- ⑩大泉米をブランド化する。植物性シリカ等の大泉地区特産物を開発、販売する。休耕田対策として苔の栽培育成と販売を行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	35経営体		92.5 ha	0 ha		92.5 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3. 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4: 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

[illegible]

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

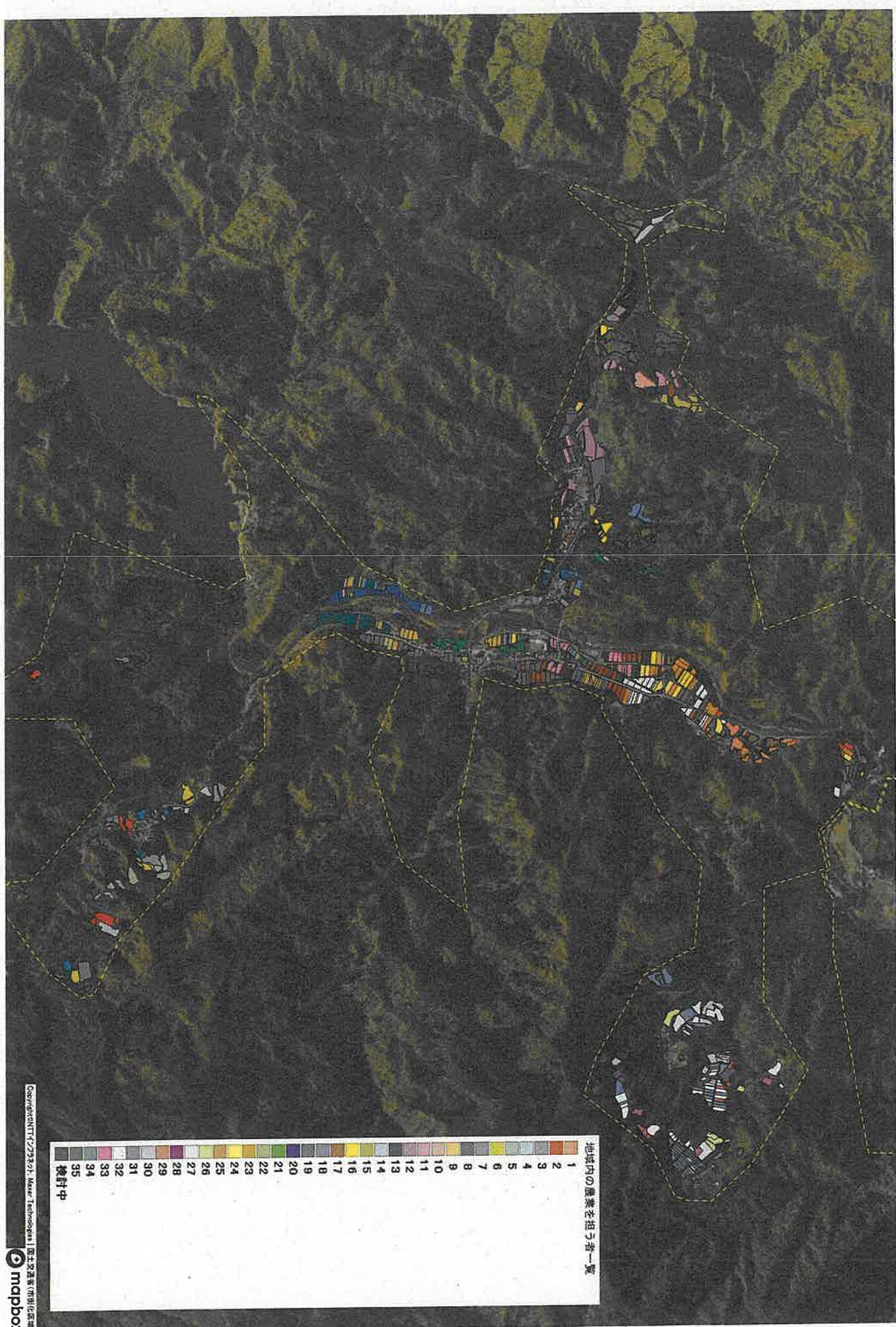
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者	水稲・野菜	1.8 ha	ha	水稲・野菜	1.8 ha	ha	1	
2	利用者	野菜・山菜	2.3 ha	ha	野菜・山菜	2.3 ha	ha	2	
3	利用者	山菜	1.7 ha	ha	山菜	1.7 ha	ha	3	
4	利用者	そば・山菜	1.1 ha	ha	そば・山菜	1.1 ha	ha	4	
5	利用者	そば・山菜	2.1 ha	ha	そば・山菜	2.1 ha	ha	5	
6	利用者	そば・山菜	1.3 ha	ha	そば・山菜	1.3 ha	ha	6	
7	利用者	野菜・山菜	1.2 ha	ha	野菜・山菜	1.2 ha	ha	7	
8	認農	水稲・山菜	7.1 ha	ha	水稲・山菜	7.2 ha	ha	8	
9	利用者	水稲・山菜	0.4 ha	ha	水稲・山菜	0.2 ha	ha	9	
10	利用者	野菜・山菜	1.0 ha	ha	野菜・山菜	1.0 ha	ha	10	
11	利用者	水稲・山菜	4.7 ha	ha	水稲・山菜	4.7 ha	ha	11	
12	利用者	そば・山菜	3.3 ha	ha	そば・山菜	3.3 ha	ha	12	
13	認農	水稲・そば	6.2 ha	ha	水稲・そば	6.3 ha	ha	13	
14	利用者	野菜・山菜	1.1 ha	ha	野菜・山菜	1.1 ha	ha	14	
15	利用者	水稲・野菜	5.4 ha	ha	水稲・野菜	5.4 ha	ha	15	
16	利用者	水稲・山菜	2.8 ha	ha	水稲・山菜	2.6 ha	ha	16	
17	利用者	水稲・山菜	4.3 ha	ha	水稲・山菜	4.3 ha	ha	17	
18	利用者	水稲・山菜	3.0 ha	ha	水稲・山菜	3.0 ha	ha	18	
19	利用者	水稲・そば	4.7 ha	ha	水稲・そば	4.7 ha	ha	19	
20	利用者	水稲・山菜	3.1 ha	ha	水稲・山菜	3.3 ha	ha	20	
21	利用者	水稲・山菜	2.4 ha	ha	水稲・山菜	2.4 ha	ha	21	
22	利用者	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	22	
23	利用者	水稲・そば	2.7 ha	ha	水稲・そば	2.7 ha	ha	23	
24	利用者	水稲・山菜	1.7 ha	ha	水稲・山菜	1.7 ha	ha	24	
25	利用者	山菜・野菜	0.9 ha	ha	山菜・野菜	0.9 ha	ha	25	
26	利用者	水稲	1.4 ha	ha	水稲	1.4 ha	ha	26	
27	利用者	水稲・山菜	5.7 ha	ha	水稲・山菜	5.7 ha	ha	27	
28	認農	水稲・山菜	4.2 ha	ha	水稲・山菜	4.2 ha	ha	28	
29	利用者	水稲・山菜	1.0 ha	ha	水稲・山菜	1.0 ha	ha	29	
30	利用者	野菜・山菜	1.5 ha	ha	野菜・山菜	1.5 ha	ha	30	
31	利用者	水稲・そば	5.8 ha	ha	水稲・そば	5.8 ha	ha	31	
32	利用者	水稲・山菜	3.3 ha	ha	水稲・山菜	3.3 ha	ha	32	
33	利用者	野菜・山菜	0.8 ha	ha	野菜・山菜	0.8 ha	ha	33	
34	利用者	果樹・山菜	0.9 ha	ha	果樹・山菜	0.9 ha	ha	34	
35	認農	山菜	1.2 ha	ha	山菜	1.2 ha	ha	35	

【目標地図】 朝日 大泉地区



地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	鶴岡市 (06203)
地域名 (地域内農業集落名)	朝日_大針地区 (大針上、大針中、大針下)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	60.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	60.2 ha
② 田の面積	55.5 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	4.7 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	4.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	4.1 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考) ⑤のうち調整未了農地分 4.1ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】

- ・作物:水稲、そば、わらび、ウド、フキ、山ぶどう、枝豆、みょうが、ほうれん草、キャベツ、トマト、とうもろこし、なす、かぼちゃ、ねぎ、白菜、月山筍等
- ・当地区は山間地域に位置し、地形的に日照不足となるほ場が多い。
- ・水不足のほ場やイノシシ等による獣害に悩まされている。

【課題】

- ・人口減少が著しく、後継者不足により若い世代へ農業継承ができていない。
- ・農業情勢に伴う米価下落の影響、また近年の物価高騰を受け、経営が厳しくなっている状況である。
- ・獣害による被害が多く、対策が必要である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・山際や作業道の確保ができないなど条件が悪い所は自己保全としながらも、耕作中の場所は中間管理機構を利用するなどして、出来る限り現状維持としていく。
- ・山菜栽培を維持しつつ、ドクダミやイタドリ、よもぎ、飼料用米、その他日照不足に適した作物の栽培を目指す。
- ・6次産業化に取り組むなど、経営面積を広げなくても付加価値により所得を上げる工夫をする。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
山際等の条件が悪い場所は自己保全とし、現在耕作中の場所は可能な限り現状維持とする。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	26.7	%	将来の目標とする集積率 50.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
団地面積の拡大。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
当面は現状維持としながら、将来的な集積・集約を検討していく。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地の集約化を進める場合や作業の効率性から、積極的に農地中間管理機構を活用する。
(3) 基盤整備事業への取組
小規模な基盤整備には取り組んでいく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
生産だけでなく営業・販売を合わせ農業経営を行うなど、農業の面白味を感じられ、収入を確保できるような儲かる農業を目指す。大規模農家だけでなく、兼業農家でも成り立つ農業の支援・仕組みができるよう要望する。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農業協同組合に堆肥散布機等、大型機器のリース事業への参入を要望する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①イノシシ等による被害拡大防止のために防護柵を設置する。目撃・被害情報を猟友会等の関係機関へに連絡して速やかに対応する。
- ③ドローン等によるスマート農業を実践していく。
- ⑦農地中間管理機構を利用して農地の保全に努め、集積しやすい環境を整備する。
- ⑩面積拡大しなくても所得を向上できるように、6次産業へ取組む。Jクレジット制度を活用する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	23経営体		40.6 ha	0 ha		40.6 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業者は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4: 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

[illegible]

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

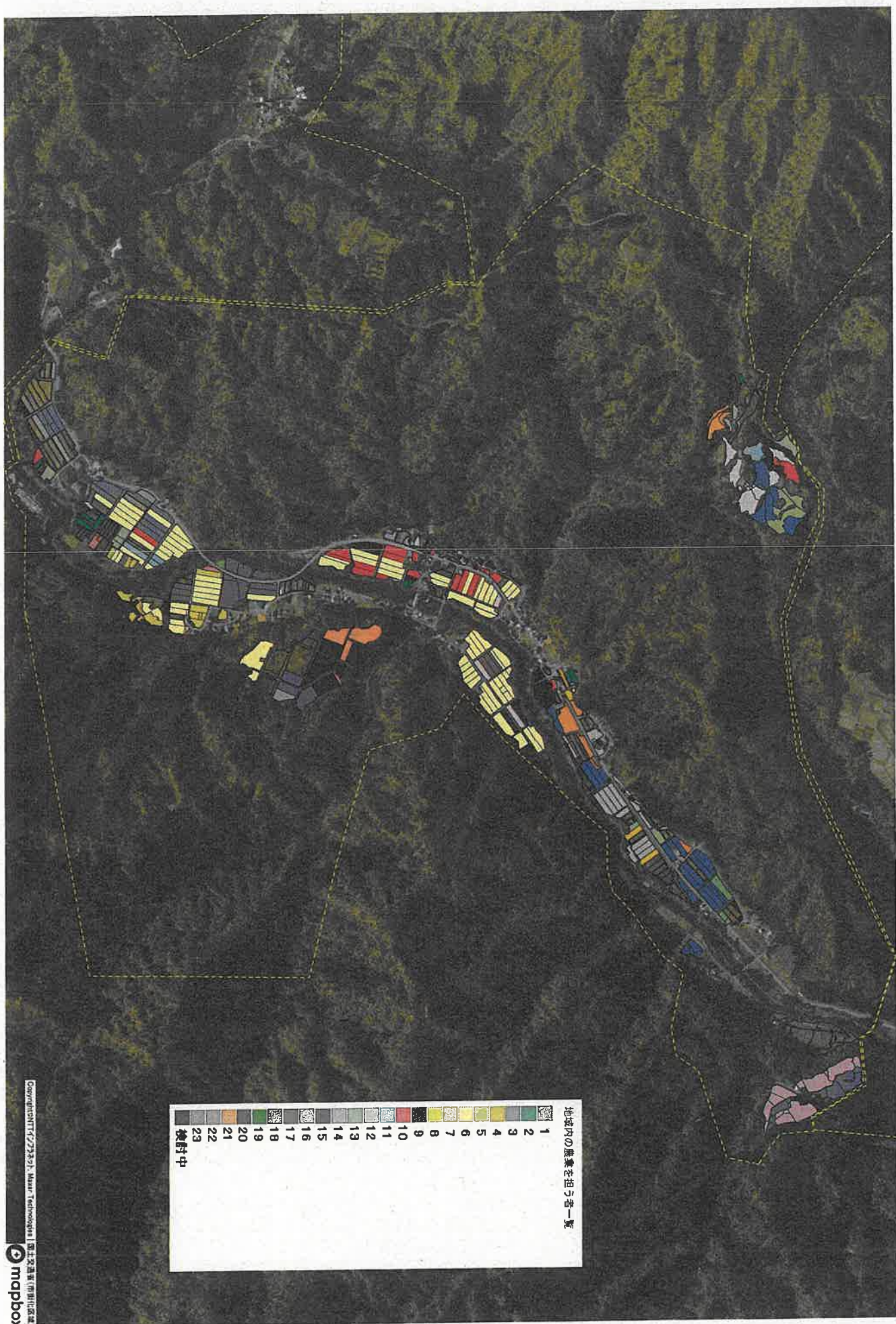
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 16 年度)					
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考	
1	利用者	山菜、そば	0.0 ha	ha	山菜、そば	0.0 ha	ha	1		
2	利用者	山菜	0.3 ha	ha	山菜	0.3 ha	ha	2		
3	利用者	山菜	0.4 ha	ha	山菜	0.4 ha	ha	3		
4	利用者	そば	0.4 ha	ha	そば	0.4 ha	ha	4		
5	利用者	水稲、山菜	1.3 ha	ha	水稲、山菜	1.3 ha	ha	5		
6	認農	水稲、山菜	11.8 ha	ha	水稲、山菜	11.8 ha	ha	6		
7	利用者	山菜、野菜	1.0 ha	ha	山菜、野菜	1.0 ha	ha	7		
8	利用者	山菜	0.0 ha	ha	山菜	0.0 ha	ha	8		
9	利用者	水稲	2.0 ha	ha	水稲	2.0 ha	ha	9		
10	利用者	水稲、山菜	2.5 ha	ha	水稲、山菜	2.5 ha	ha	10		
11	利用者	山菜	0.8 ha	ha	山菜	0.8 ha	ha	11		
12	利用者	水稲、山菜	2.1 ha	ha	水稲、山菜	2.1 ha	ha	12		
13	利用者	水稲、山菜	1.2 ha	ha	水稲、山菜	1.2 ha	ha	13		
14	利用者	水稲、山菜	1.9 ha	ha	水稲、山菜	1.9 ha	ha	14		
15	認農	水稲、野菜	4.3 ha	ha	水稲、野菜	4.3 ha	ha	15		
16	利用者	水稲、山菜	2.4 ha	ha	水稲、山菜	2.4 ha	ha	16		
17	利用者	山菜、野菜	1.2 ha	ha	山菜、野菜	1.2 ha	ha	17		
18	利用者	山菜	0.9 ha	ha	山菜	0.9 ha	ha	18		
19	利用者	山菜、果樹	0.5 ha	ha	山菜、果樹	0.5 ha	ha	19		
20	利用者	水稲、山菜	3.7 ha	ha	水稲、山菜	3.7 ha	ha	20		
21	利用者	水稲、山菜	1.3 ha	ha	水稲、山菜	1.3 ha	ha	21		
22	利用者	果樹	0.2 ha	ha	果樹	0.2 ha	ha	22		
23	利用者	山菜	0.4 ha	ha	山菜	0.4 ha	ha	23		
24			ha	ha		ha	ha			
25			ha	ha		ha	ha			

【目標地図】 朝日 大針地区



地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	鶴岡市 (06203)
地域名 (地域内農業集落名)	朝日_本郷地区 (下本郷、上本郷、行沢、砂川)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	194.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	194.1 ha
② 田の面積	174.9 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	19.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	7.9 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	7.9 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	
⑤のうち調整未了農地分 5.1ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】 ・作物: 水稻・そば・赤かぶ・にら・きゅうり・トマト・ねぎ・からどり芋・さといも・かぼちゃ・在来作物・行者にんにく・わらび・ういろう・山菜全般・ぶどう・柿・花き・みょうが・月山筍等 ・農家の減少に伴い、水利組合の維持が困難になってきている。特に上本郷の水源は他地区の農業や生活に影響を及ぼすため、水源を維持しなければならないが、山際の農地はイノシシ等の被害が多くなっている。 【課題】 ・圃場の外観は同じだが、条件が違いため集約も難しい。 ・農家の減少を防ぐためには、基盤整備を実施して労働生産性を向上させると同時に、水稻を中心とした経営に加えて、安定的な収入を確保できる作物を取り入れた経営を図る必要がある。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・上本郷の水源が他地区に影響するため、今後も水稻等を耕作して用水の管理を行う。水路の崩落箇所は、補助事業や保全事業を活用して修繕を行う。 ・農家の減少を防ぎ、また水利組合を維持するために基盤整備を進める。それと同時に、ニラやたららの芽等(鳥獣被害に強く、水を使わない、高収益、多年生の作物)への経営の導入を進める。 ・サルやイノシシによる被害を防ぐために、山際の手入れを行う。将来的には山側は保全管理とし、整備されている農地をどのように活用していくかを考えていく必要がある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現状どおりに管理していく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	43.2	%	将来の目標とする集積率
			50.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
団地面積の拡大。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
県道沿いの条件の良い農地について、段階的に担い手に集積、集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地の賃貸借契約の場合は、農地中間管理機構を活用する。
(3) 基盤整備事業への取組
当面は現状維持だが、上本郷の未整備地区について土地所有者の合意が得られた場合は、基盤整備や水路整備を行う。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
他地域からの担い手やUターン者の受け入れを促進する。小規模経営の兼業農家などからも受け手となってもらい、荒廃農地の発生を抑える。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農業協同組合のライスセンターと人材派遣サービスを継続して利用する。シルバー人材センターの人材派遣の利用を継続する。また、農業協同組合に大型機器のリース事業への参入を要望する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☒ ④輸出	☒ ⑤果樹等
☒ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①サルやイノシシによる被害が拡大しないように山際の手入れを続ける。デジタル化が進めば、サル等が来る前に情報をもらい、集落で対応できるようにしたい。
- ②つや姫等の特別栽培米の生産を継続し、減化学肥料を継続する。
- ③スマート機器により効率化を目指す。
- ④輸出できる品目を選定して取り組む。
- ⑤山ぶどうを継続して栽培する。
- ⑥山間地でも栽培できる燃料作物の検討。
- ⑦水路を維持するために草刈り等の保全管理を継続する。
- ⑧農道の整備を要望する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	63経営体		153.0 ha	0 ha		153.9 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4: 作業受託面積は、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経常面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

[illegible]

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

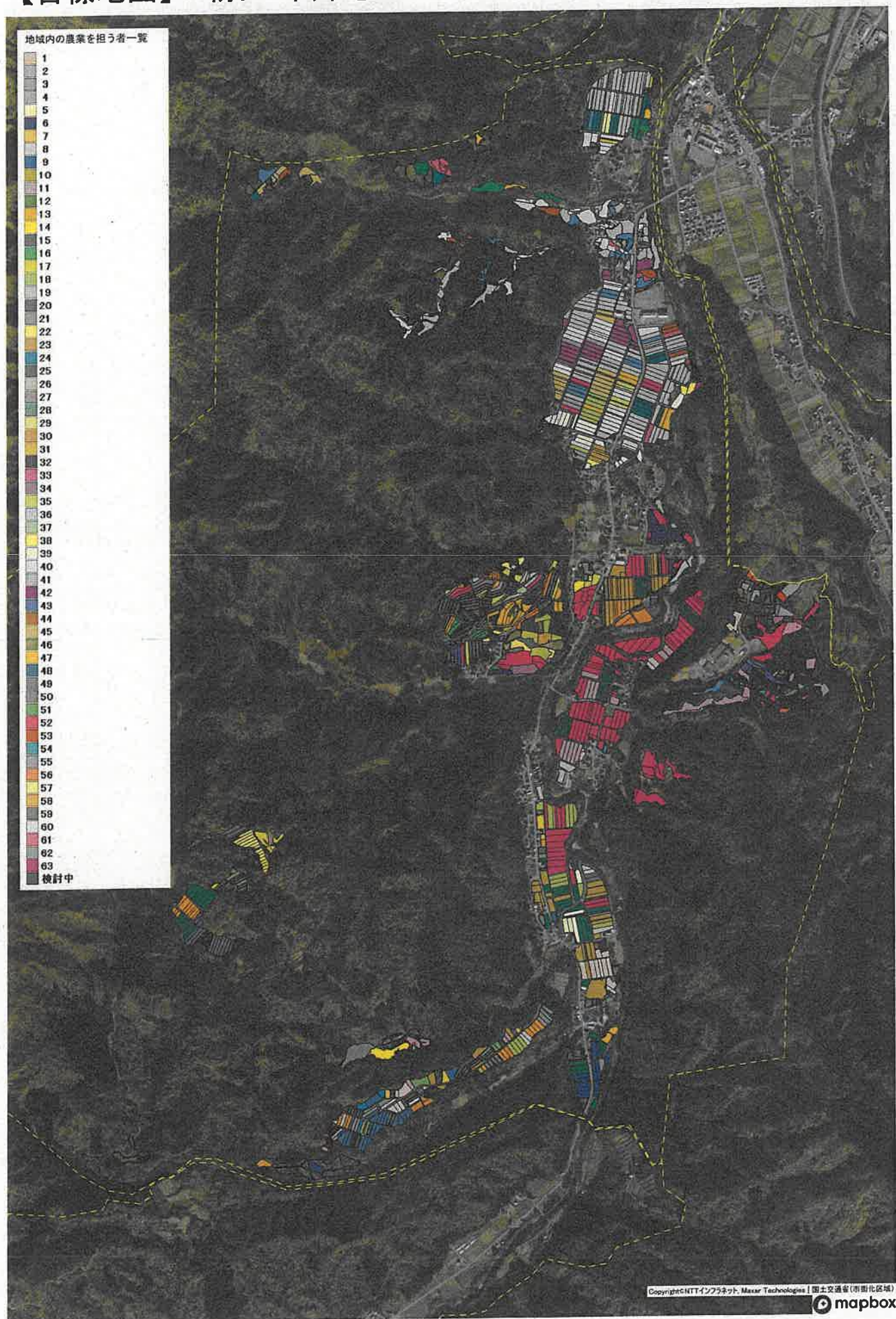
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者	山菜	0.1 ha	ha	山菜	0.1 ha	ha	1	
2	利用者	果樹	0.6 ha	ha	果樹	0.6 ha	ha	2	
3	利用者	そば	1.1 ha	ha	そば	1.1 ha	ha	3	
4	認農	水稲・山菜	4.3 ha	ha	水稲・山菜	4.3 ha	ha	4	
5	認農	水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.9 ha	ha	5	
6	認農	水稲・山菜	2.1 ha	ha	水稲・山菜	2.1 ha	ha	6	
7	利用者	山菜	0.3 ha	ha	山菜	0.3 ha	ha	7	
8	利用者	水稲・山菜	2.5 ha	ha	水稲・山菜	3.1 ha	ha	8	
9	利用者	山菜	2.5 ha	ha	山菜	2.5 ha	ha	9	
10	認農	水稲・山菜	9.3 ha	ha	水稲・山菜	9.3 ha	ha	10	
11	利用者	水稲・山菜	0.9 ha	ha	水稲・山菜	0.9 ha	ha	11	
12	利用者	水稲・山菜	4.7 ha	ha	水稲・山菜	5.2 ha	ha	12	
13	利用者	山菜	1.6 ha	ha	山菜	1.6 ha	ha	13	
14	利用者	水稲・山菜	1.5 ha	ha	水稲・山菜	1.1 ha	ha	14	
15	利用者	水稲・野菜	2.2 ha	ha	水稲・野菜	2.2 ha	ha	15	
16	利用者	山菜	1.0 ha	ha	山菜	1.0 ha	ha	16	
17	利用者	水稲・山菜	1.0 ha	ha	水稲・山菜	1.0 ha	ha	17	
18	認農	水稲・山菜	6.6 ha	ha	水稲・山菜	6.6 ha	ha	18	
19	利用者	果樹・野菜	0.6 ha	ha	果樹・野菜	0.6 ha	ha	19	
20	利用者	水稲・野菜	2.0 ha	ha	水稲・野菜	2.0 ha	ha	20	
21	利用者	山菜	0.9 ha	ha	山菜	0.9 ha	ha	21	
22	利用者	水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.9 ha	ha	22	
23	利用者	水稲・山菜	1.8 ha	ha	水稲・山菜	1.8 ha	ha	23	
24	利用者	果樹・野菜	0.4 ha	ha	果樹・野菜	0.4 ha	ha	24	
25	認農	水稲・山菜	3.1 ha	ha	水稲・山菜	3.1 ha	ha	25	
26	利用者	山菜	0.8 ha	ha	山菜	0.8 ha	ha	26	
27	利用者	山菜	0.4 ha	ha	山菜	0.4 ha	ha	27	
28	利用者	果樹	0.7 ha	ha	果樹	0.7 ha	ha	28	
29	利用者	山菜	0.4 ha	ha	山菜	0.4 ha	ha	29	
30	利用者	山菜	0.6 ha	ha	山菜	0.6 ha	ha	30	
31	利用者	水稲	3.0 ha	ha	水稲	3.0 ha	ha	31	
32	利用者	水稲・そば	3.7 ha	ha	水稲・そば	3.7 ha	ha	32	
33	利用者	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	33	
34	利用者	水稲・山菜	0.8 ha	ha	水稲・山菜	0.8 ha	ha	34	
35	利用者	水稲・山菜	2.7 ha	ha	水稲・山菜	2.7 ha	ha	35	
36	利用者	水稲・山菜	0.9 ha	ha	水稲・山菜	0.9 ha	ha	36	
37	利用者	水稲・山菜	0.5 ha	ha	水稲・山菜	0.5 ha	ha	37	
38	利用者	水稲・果樹	0.7 ha	ha	水稲・果樹	0.7 ha	ha	38	
39	利用者	水稲・山菜	2.2 ha	ha	水稲・山菜	2.2 ha	ha	39	
40	利用者	水稲・そば	5.3 ha	ha	水稲・そば	3.9 ha	ha	40	
41	認農	水稲・そば	22.6 ha	ha	水稲・そば	22.5 ha	ha	41	
42	利用者	水稲・山菜	3.7 ha	ha	水稲・山菜	3.7 ha	ha	42	
43	利用者	水稲・野菜	4.0 ha	ha	水稲・野菜	4.0 ha	ha	43	
44	利用者	山菜	1.8 ha	ha	山菜	1.7 ha	ha	44	
45	利用者	水稲・山菜	4.2 ha	ha	水稲・山菜	4.2 ha	ha	45	
46	利用者	山菜	0.7 ha	ha	山菜	0.7 ha	ha	46	
47	利用者	果樹・野菜	0.5 ha	ha	果樹・野菜	0.5 ha	ha	47	
48	認農	水稲・山菜	3.2 ha	ha	水稲・山菜	3.2 ha	ha	48	
49	利用者	果樹	0.1 ha	ha	果樹	0.1 ha	ha	49	
50	利用者	果樹	0.2 ha	ha	果樹	0.2 ha	ha	50	
51	利用者	果樹	0.1 ha	ha	果樹	0.1 ha	ha	51	
52	利用者	果樹	0.1 ha	ha	果樹	0.1 ha	ha	52	
53	利用者	果樹	0.2 ha	ha	果樹	0.2 ha	ha	53	
54	利用者	果樹	0.1 ha	ha	果樹	0.1 ha	ha	54	
55	利用者	果樹	0.6 ha	ha	果樹	0.6 ha	ha	55	
56	利用者	果樹	0.2 ha	ha	果樹	0.2 ha	ha	56	
57	利用者	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	57	
58	利用者	山菜	0.2 ha	ha	山菜	0.2 ha	ha	58	
59	認農	水稲・そば	1.0 ha	ha	水稲・そば	1.0 ha	ha	59	
60	認農	水稲・山菜	7.1 ha	ha	水稲・山菜	8.9 ha	ha	60	
61	利用者	野菜・山菜	0.8 ha	ha	野菜・山菜	0.8 ha	ha	61	
62	利用者	水稲・山菜	1.7 ha	ha	水稲・山菜	1.7 ha	ha	62	
63	認農	水稲・山菜	23.6 ha	ha	水稲・山菜	23.6 ha	ha	63	

【目標地図】 朝日 本郷地区



地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	鶴岡市 (06203)
地域名 (地域内農業集落名)	鶴岡_名川地区 (下名川、上名川、三栗屋)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	94.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	94.8 ha
② 田の面積	67.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	27.7 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	9.3 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	9.3 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	
⑤のうち調整未了農地分 6.8ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】

作物:水稲・そば・沖田なす・きゅうり・トマト・かぼちゃ・行者にんにく・わらび・うるい・山菜全般・山ぶどう・柿・おうとう・いちご等

・当地区では鳥獣被害が増加していることと、冬に農業ができる施設等がないことが大きな要因となり、農業で高収入を得ることが難しい。

【課題】

・今般の物価高騰により農業経営が一層厳くなっていることから、農家は新作物の生産に取り組みづらくなっている。

・水利状態が悪く、水路の維持が常に課題となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・上野山は保全管理し、下名川の平場の農地を守っていく。上名川の山の上にある農地は、保全することができないため林地化する。

・水路の状態によって今後状況は変わるが、中山間地域等直接支払交付金を活用して耕作放棄地の解消に取り組む。

・耕作地では、米、そば、大豆を作付ける。冬に農作業ができる施設の整備に対する支援を要望し、施設整備後は、人参・長ねぎ・キャベツ・山菜等を施設栽培していきたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現状どおりに管理していく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	35.4	%	将来の目標とする集積率 50.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
団地面積の拡大			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
当面は現状を維持しつつ、集積、集約化のために農業法人の設立を検討する。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
賃借料を現物で求める地権者の土地以外は、農地中間管理機構を活用していきたい。
(3) 基盤整備事業への取組
多面的機能支払交付金を活用して水路を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
他地域からの担い手やUターン者の受け入れを促進する。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農業協同組合のライスセンターと人材派遣サービスを継続して利用する。また、農業協同組合に堆肥散布機等、大型機器のリース事業への参入を要望する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☒ ④輸出	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①花火を活用しつつ、猟友会と連携して鳥獣被害を防止する。
 ④輸出について検討する。
 ⑤管理が大変な柿から比較的楽な醸造用ぶどうへ転換する。
 ⑦条件の悪い山の上の農地は保全管理とする。
 ⑧水路の維持を継続する。農機具倉庫や堆肥センターの設立に対する補助を自治体や農協に要望する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	43経営体		72.8 ha	0 ha		73.5 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4. 作業受託面積は、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

[illegible]

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

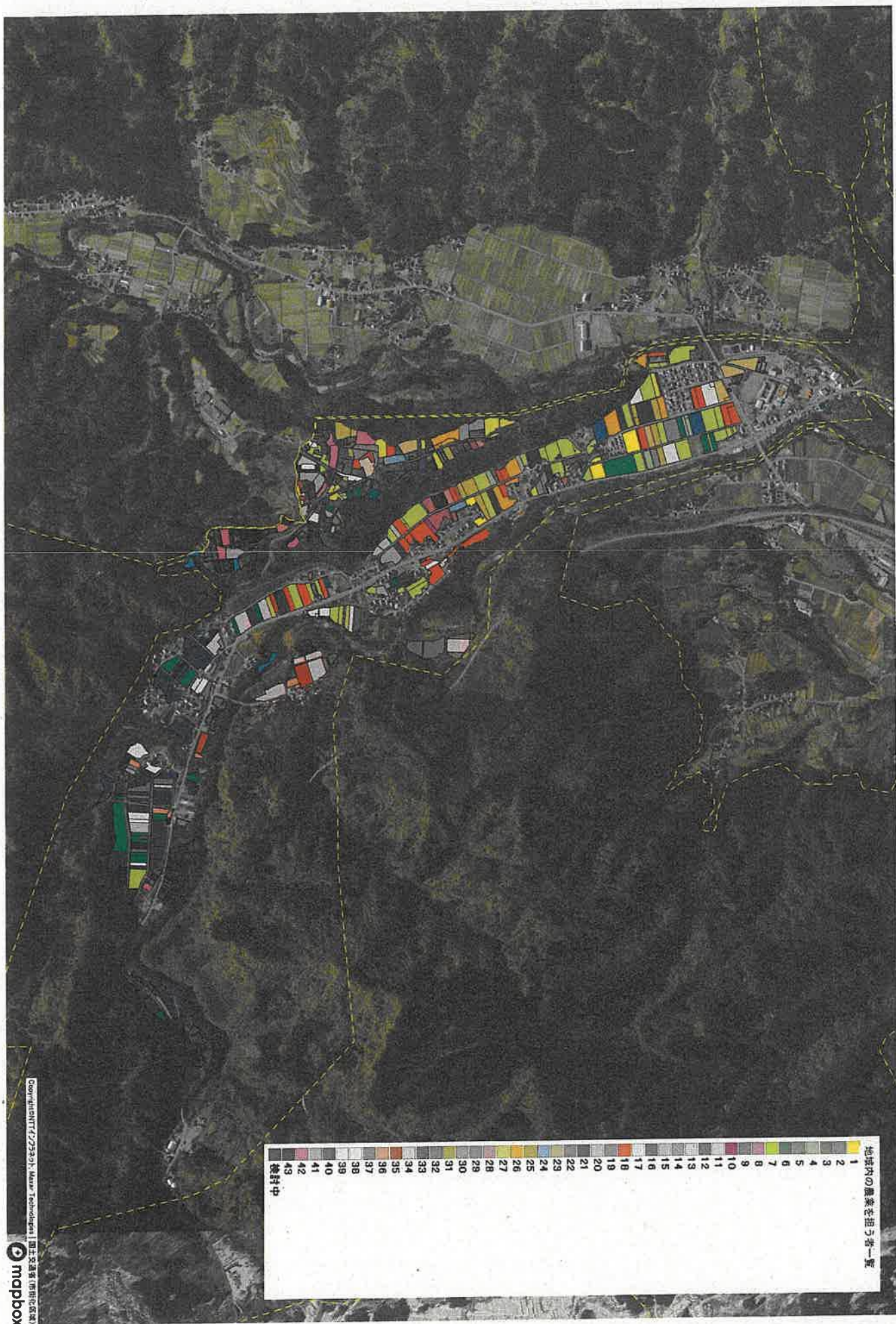
また、市町村の広報等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者		水稲・果樹	1.4 ha	ha	水稲・果樹	1.4 ha	ha	1	
2	利用者		果樹	0.4 ha	ha	果樹	0.4 ha	ha	2	
3	利用者		果樹	0.3 ha	ha	果樹	0.3 ha	ha	3	
4	認農		水稲・山菜	0.8 ha	ha	水稲・山菜	0.8 ha	ha	4	
5	利用者		水稲・山菜	0.6 ha	ha	水稲・山菜	0.6 ha	ha	5	
6	認農		水稲	5.0 ha	ha	水稲	5.0 ha	ha	6	
7	認農		水稲・山菜	11.4 ha	ha	水稲・山菜	11.4 ha	ha	7	
8	利用者		野菜	0.7 ha	ha	野菜	0.7 ha	ha	8	
9	利用者		水稲・果樹	0.4 ha	ha	水稲・果樹	0.4 ha	ha	9	
10	利用者		水稲・果樹	0.2 ha	ha	水稲・果樹	0.2 ha	ha	10	
11	利用者		果樹	0.2 ha	ha	果樹	0.2 ha	ha	11	
12	利用者		果樹	0.6 ha	ha	果樹	0.6 ha	ha	12	
13	利用者		果樹	0.0 ha	ha	果樹	0.0 ha	ha	13	0.05ha未満
14	利用者		果樹・野菜	0.1 ha	ha	果樹・野菜	0.1 ha	ha	14	
15	利用者		水稲・果樹	0.9 ha	ha	水稲・果樹	0.9 ha	ha	15	
16	利用者		果樹	0.4 ha	ha	果樹	0.4 ha	ha	16	
17	利用者		水稲・果樹	1.4 ha	ha	水稲・果樹	1.1 ha	ha	17	
18	利用者		水稲・果樹	5.6 ha	ha	水稲・果樹	5.6 ha	ha	18	
19	利用者		水稲	0.0 ha	ha	水稲	0.0 ha	ha	19	0.05ha未満
20	利用者		果樹・野菜	0.5 ha	ha	果樹・野菜	0.5 ha	ha	20	
21	利用者		野菜・山菜	0.5 ha	ha	野菜・山菜	0.5 ha	ha	21	
22	利用者		水稲・果樹	0.9 ha	ha	水稲・果樹	0.9 ha	ha	22	
23	利用者		水稲	2.0 ha	ha	水稲	2.0 ha	ha	23	
24	利用者		果樹	0.6 ha	ha	果樹	0.6 ha	ha	24	
25	利用者		水稲	2.5 ha	ha	水稲	2.5 ha	ha	25	
26	利用者		水稲・野菜	2.7 ha	ha	水稲・野菜	2.7 ha	ha	26	
27	利用者		水稲・果樹	2.0 ha	ha	水稲・果樹	2.0 ha	ha	27	
28	利用者		水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	28	
29	利用者		水稲・果樹	1.8 ha	ha	水稲・果樹	1.8 ha	ha	29	
30	利用者		果樹・野菜	0.7 ha	ha	果樹・野菜	0.7 ha	ha	30	
31	利用者		水稲・果樹	1.1 ha	ha	水稲・果樹	0.4 ha	ha	31	
32	利用者		果樹	0.5 ha	ha	果樹	0.5 ha	ha	32	
33	利用者		山菜	0.4 ha	ha	山菜	0.4 ha	ha	33	
34	認農		水稲・そば	3.6 ha	ha	水稲・そば	3.6 ha	ha	34	
35	利用者		野菜・山菜	1.7 ha	ha	野菜・山菜	1.1 ha	ha	35	
36	利用者		野菜	0.6 ha	ha	野菜	0.6 ha	ha	36	
37	利用者		果樹・山菜	2.6 ha	ha	果樹・山菜	2.6 ha	ha	37	
38	利用者		水稲	1.5 ha	ha	水稲	1.5 ha	ha	38	
39	利用者		水稲・山菜	0.6 ha	ha	水稲・山菜	1.3 ha	ha	39	
40	利用者		水稲・野菜	1.1 ha	ha	水稲・野菜	1.1 ha	ha	40	
41	利用者		果樹	1.3 ha	ha	果樹	1.3 ha	ha	41	
42	認農		野菜	1.0 ha	ha	野菜	1.0 ha	ha	42	
43	認農		水稲・山菜	11.8 ha	ha	水稲・山菜	13.4 ha	ha	43	
44				ha	ha		ha	ha		
45				ha	ha		ha	ha		

【目標地図】 朝日 名川地区



地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	鶴岡市 (06203)
地域名 (地域内農業集落名)	朝日_熊出地区 (熊出上、熊出中、熊出下)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	105.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	105.6 ha
② 田の面積	89.5 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	16.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.3 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.3 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	
⑤のうち調整未了農地分 0.1ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】

作物:水稲・そば・沖田なす・にら・きゅうり・トマト・ねぎ・かぼちゃ・在来作物・行者にんにく・わらび・うるい・山菜全般・ぶどう・柿・イタリアンライグラス・花木・おうとう・すだち・すいか・なし・りんご・とうもろこし等
・南俣、栗山、五福田等の山間部において、将来的に耕作を継続することが難しい農地が出てきている。

【課題】

・高齢化・人口減少が進む中で農業を続けていくには、耕作するエリアと保全するエリアを分け、耕作するエリアで栽培する作物・栽培方法を検討する必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・山間部のうち、条件が悪く管理が難しいエリアについては保全管理とする。基本的には現在の管理者が管理するが、労力不足の場合は山にかえすことを検討する。
・山間部のうち、比較的管理がしやすいエリアについては、耕作を続けるエリアと保全管理するエリアに分ける。耕作を継続するエリアでは担い手への農地の集積、集約化を段階的に進める。
・条件の良い平場の農地では従来どおり米、そばを中心に耕作を行う。今後、需要増が見込まれる園芸作物を検討していきたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針 現状どおりに管理していく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	75.6	%	将来の目標とする集積率 75.9 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
団地面積の拡大			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組 現在の管理者が継続して管理するが、管理できなくなった場合は意欲ある農業者に集積する。
(2)農地中間管理機構の活用方法 農地は農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向を斟酌し、段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組 小規模でも各種事業を活用し、基盤整備していきたい。また、基盤整備事業が完了し、50年経過していることから、再整備の必要性について検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組 新たな農業者やUターン者の受け入れを促進する。小規模経営の兼業農家などからも受け手となってもらい、荒廃農地の発生を抑える。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 農業協同組合のライスセンターと人材派遣サービスを継続して利用する。農業協同組合に大型コンバインやリモコン草刈り機等のリース事業への参入を要望する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☒ ④輸出	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害の対策をしながら、鳥獣と共存していく。
- ②つや姫等の特別栽培米の生産を継続する。
- ③人手不足を解消するためにスマート機器を活用した農業に段階的に移行する。
- ④輸出できる品目を選定して栽培に取り組む。
- ⑤柿、醸造用ぶどう、おうとう、すだち等栽培を継続する。
- ⑦山際の農地の保全を継続する。
- ⑧農道の舗装、五福田の取水口の整備を要望する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	32経営体		98.7 ha	0 ha		99.0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4: 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

[illegible]

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

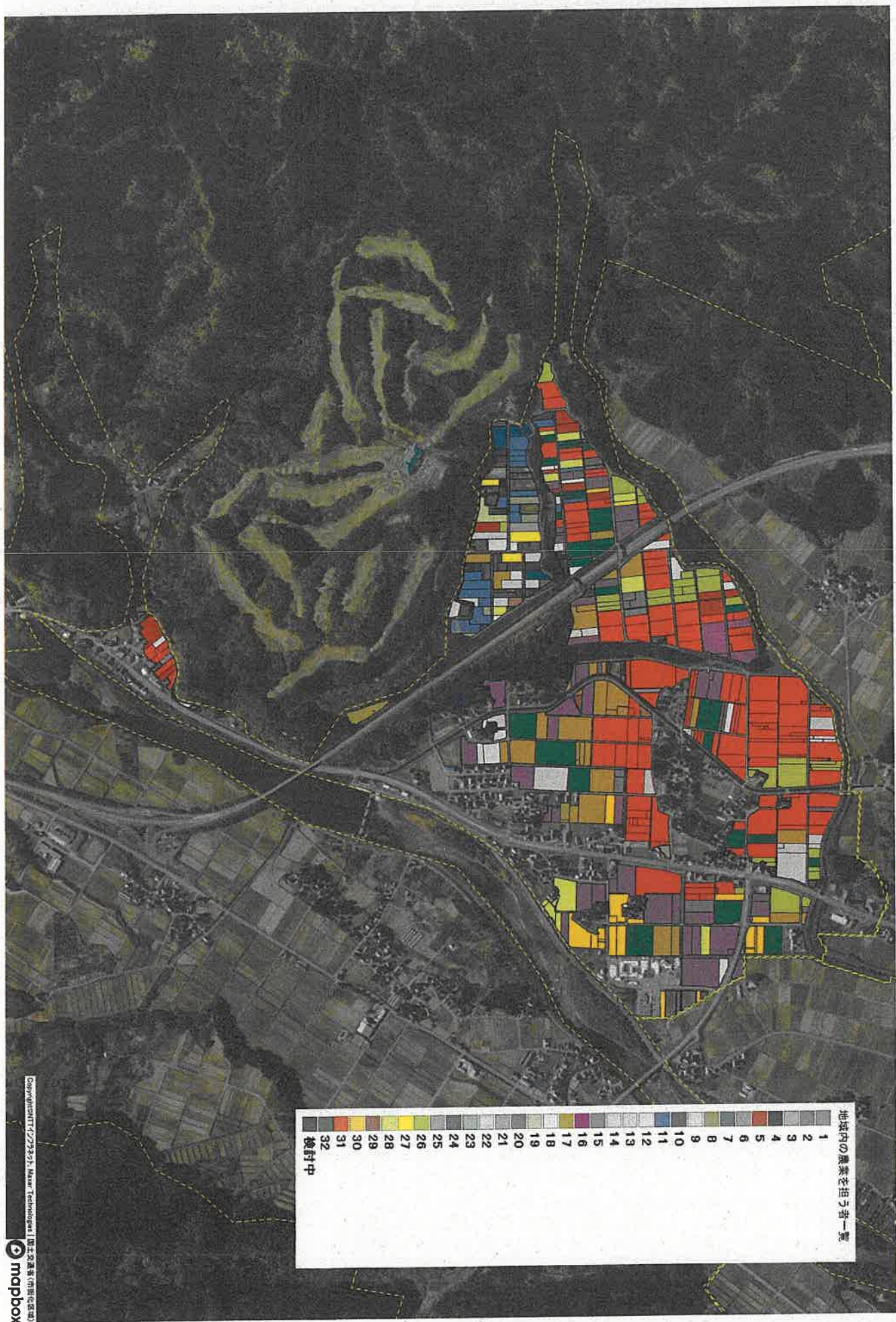
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者	果樹・山菜	0.3 ha	ha	果樹・山菜	0.3 ha	ha	1	
2	利用者	山菜	0.0 ha	ha	山菜	0.0 ha	ha	2	0.05ha未満
3	利用者	果樹	0.3 ha	ha	果樹	0.3 ha	ha	3	
4	利用者	水稲・そば	0.5 ha	ha	水稲・そば	0.5 ha	ha	4	
5	利用者	水稲・山菜	2.6 ha	ha	水稲・山菜	2.6 ha	ha	5	
6	利用者	そば・果樹	0.1 ha	ha	そば・果樹	0.1 ha	ha	6	
7	利用者	果樹・山菜	0.3 ha	ha	果樹・山菜	0.3 ha	ha	7	
8	利用者	果樹	0.7 ha	ha	果樹	0.7 ha	ha	8	
9	利用者	水稲・果樹	2.1 ha	ha	水稲・果樹	2.1 ha	ha	9	
10	利用者	果樹	0.4 ha	ha	果樹	0.4 ha	ha	10	
11	認農	果樹	3.2 ha	ha	果樹	3.2 ha	ha	11	
12	利用者	水稲	1.2 ha	ha	水稲	1.2 ha	ha	12	
13	利用者	果樹	0.5 ha	ha	果樹	0.5 ha	ha	13	
14	利用者	水稲・果樹	1.7 ha	ha	水稲・果樹	1.7 ha	ha	14	
15	利用者	水稲・そば	1.3 ha	ha	水稲・そば	1.3 ha	ha	15	
16	認農	水稲・そば	14.7 ha	ha	水稲・そば	14.7 ha	ha	16	
17	認農	水稲・そば	9.7 ha	ha	水稲・そば	9.7 ha	ha	17	
18	利用者	果樹・山菜	1.2 ha	ha	果樹・山菜	1.2 ha	ha	18	
19	利用者	果樹	0.4 ha	ha	果樹	0.4 ha	ha	19	
20	利用者	果樹	0.1 ha	ha	果樹	0.1 ha	ha	20	
21	利用者	果樹	0.1 ha	ha	果樹	0.1 ha	ha	21	
22	利用者	果樹	0.6 ha	ha	果樹	0.6 ha	ha	22	
23	利用者	果樹・野菜	0.4 ha	ha	果樹・野菜	0.4 ha	ha	23	
24	利用者	果樹	0.6 ha	ha	果樹	0.6 ha	ha	24	
25	利用者	果樹・野菜	0.5 ha	ha	果樹・野菜	0.5 ha	ha	25	
26	認農	水稲・果樹	6.3 ha	ha	水稲・果樹	6.3 ha	ha	26	
27	認農	果樹	0.8 ha	ha	果樹	0.8 ha	ha	27	
28	利用者	水稲・山菜	2.7 ha	ha	水稲・山菜	2.7 ha	ha	28	
29	利用者	果樹	0.3 ha	ha	果樹	0.3 ha	ha	29	
30	認農	水稲・そば	3.5 ha	ha	水稲・そば	3.5 ha	ha	30	
31	認農	水稲・そば	32.5 ha	ha	水稲・そば	32.8 ha	ha	31	
32	認農	水稲・山菜	9.1 ha	ha	水稲・山菜	9.1 ha	ha	32	
33			ha	ha		ha	ha		
34			ha	ha		ha	ha		
35			ha	ha		ha	ha		

【目標地図】 朝日 熊出地区



地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	鶴岡市 (06203)
地域名 (地域内農業集落名)	朝日_田麦俣・大網地区 (田麦俣、関谷、上村、中村、下村、七五三掛)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	234.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	234.5 ha
② 田の面積	202.8 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	31.7 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	12.2 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	12.2 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	
⑤のうち調整未了農地分 12.2ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】

作物:水稲、そば、わらび、ゼンマイ、なす、アスパラガス、行者ニンニク、うりい、フキ、枝豆、ウド、みょうが、かぼちゃ、ニラ、ねぎ、山ぶどう、栗、さくらんぼ、月山筍、トルコギキョウ他

・当地区は山間部に位置し、傾斜が大きいほ場や面積が小さいほ場が多く点在する。

・クマ、イノシシ、サルによる獣害に悩まされているが、傾斜の大きい所は電気柵の設置が難しい。

【課題】

・担い手や後継者の不足、地形的な条件による水不足や水路の劣化、平場よりも労力に対して収量が少ない。

・中山間地域等直接支払交付金を利用しなければ草刈り等の保全も難しく、今後の農用地維持の仕方も課題である。

・機械化を進めるには個人または共同化にしても農地面積が少なく、経費に対して収益に合わないため難しい。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・現在耕作しているところは現状維持とし継続していく。

・法人を中心に地区内外に拘らず、担い手の確保を目指す。

・水稲を中心としながら地域の土壌を生かした特色ある農産物の生産を目指す。

・ドローンを利用したスマート農業に取り組む。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・現在耕作しているところは現状維持とする。 ・今後耕作をやめることになったところはできる限り個人で管理する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	34.6 %	将来の目標とする集積率	50.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・団地面積の拡大			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
現状維持としつつ、担い手を中心に将来的な集約化を検討する。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
賃借契約の支払い手続きが簡便で作業負担減につながるため、中間管理機構を積極的に活用する。
(3) 基盤整備事業への取組
現状維持としつつ、将来的に検討する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外に拘らず担い手を確保する。行政や農協等から情報収集しながら、支援策を検討する。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
広範囲(平野部と山間部)における機械のリース事業を要望する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①サルやイノシシによる被害拡大防止のため、地形も考慮しながら防護柵を設置する。目撃・被害情報を猟友会等の関係機関へ連絡し速やかに対応する。
 ③ドローンや自動草刈り機を導入し、スマート農業を実践する。
 ⑦中山間地域等直接支払交付金を利用して農地の保全に努め、集積しやすい環境を整備する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	30経営体		139.9 ha	0 ha		139.9 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3. 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4. 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5.備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

[illegible]

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

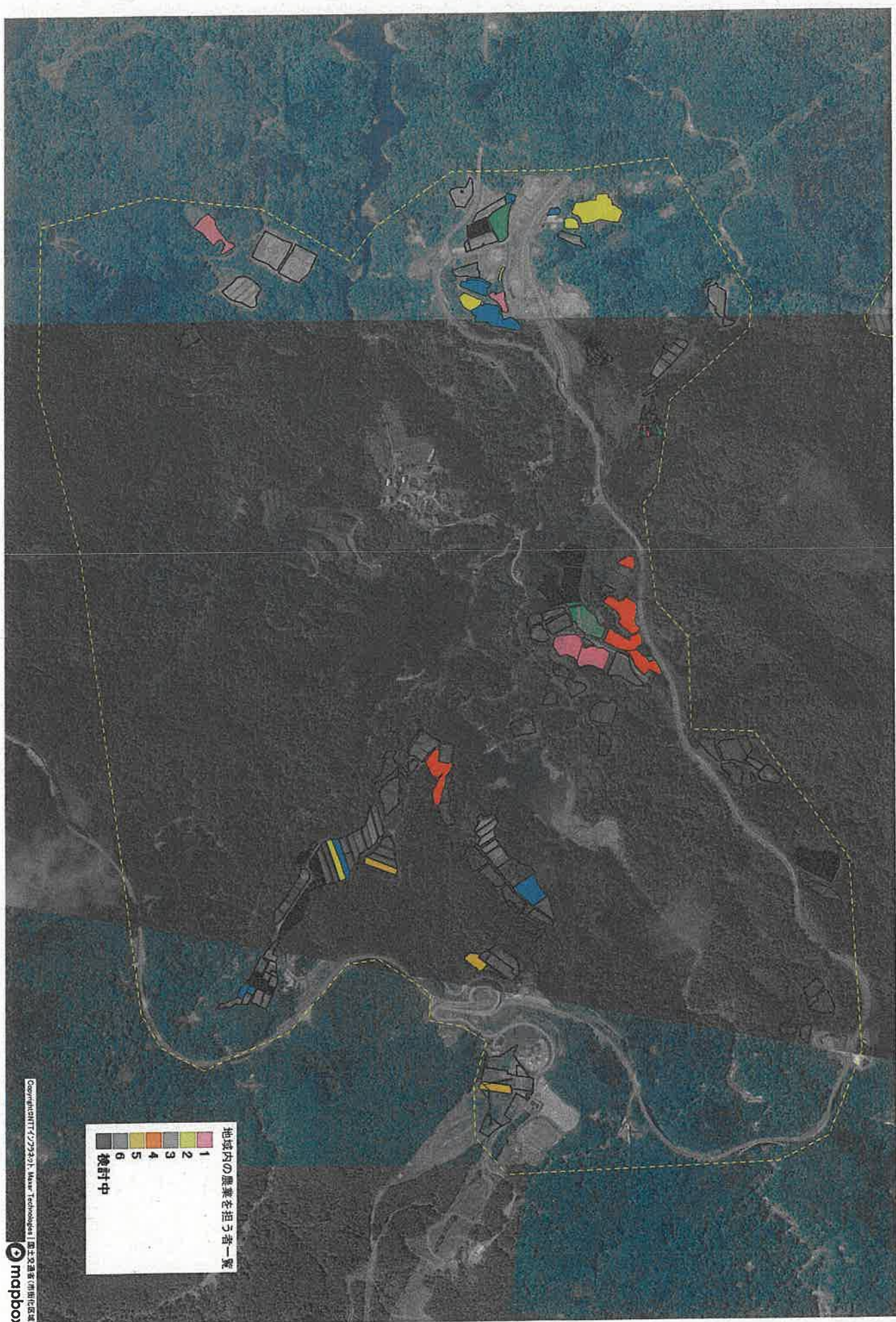
また、市町村の広報等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

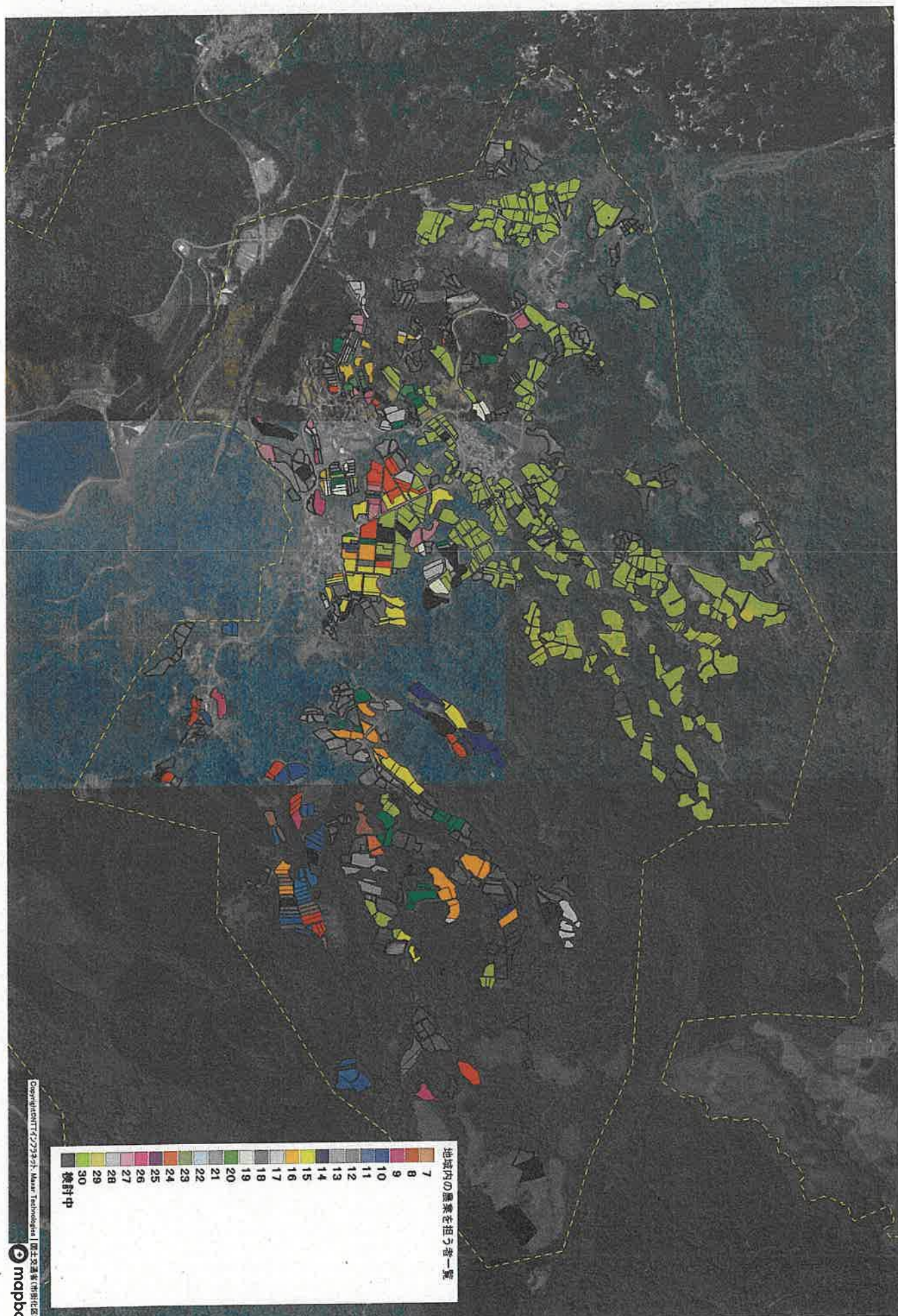
4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者		水稲、山菜	1.5 ha	ha	水稲、山菜	1.5 ha	ha	1	
2	利用者		水稲	1.4 ha	ha	水稲	1.4 ha	ha	2	
3	利用者		果樹	1.1 ha	ha	果樹	1.1 ha	ha	3	
4	利用者		水稲、山菜	1.9 ha	ha	水稲、山菜	1.9 ha	ha	4	
5	利用者		山菜	0.5 ha	ha	山菜	0.5 ha	ha	5	
6	利用者		水稲、山菜	1.7 ha	ha	水稲、山菜	1.7 ha	ha	6	
7	認農		野菜、山菜	0.5 ha	ha	野菜、山菜	0.5 ha	ha	7	
8	利用者		水稲、山菜	2.7 ha	ha	水稲、山菜	2.7 ha	ha	8	
9	利用者		水稲、そば	1.9 ha	ha	水稲、そば	1.9 ha	ha	9	
10	利用者		水稲、山菜	4.3 ha	ha	水稲、山菜	4.3 ha	ha	10	
11	利用者		水稲、山菜	2.2 ha	ha	水稲、山菜	2.2 ha	ha	11	
12	利用者		水稲、山菜	2.7 ha	ha	水稲、山菜	2.7 ha	ha	12	
13	利用者		水稲	2.2 ha	ha	水稲	2.2 ha	ha	13	
14	利用者		水稲、そば	3.6 ha	ha	水稲、そば	3.6 ha	ha	14	
15	利用者		水稲、山菜	8.0 ha	ha	水稲、山菜	8.0 ha	ha	15	
16	利用者		水稲、そば	5.7 ha	ha	水稲、そば	5.7 ha	ha	16	
17	利用者		山菜	1.3 ha	ha	山菜	1.3 ha	ha	17	
18	利用者		水稲、山菜	3.0 ha	ha	水稲、山菜	3.0 ha	ha	18	
19	利用者		水稲、野菜	1.8 ha	ha	水稲、野菜	1.8 ha	ha	19	
20	認農		そば、山菜	5.4 ha	ha	そば、山菜	5.4 ha	ha	20	
21	利用者		水稲	1.0 ha	ha	水稲	1.0 ha	ha	21	
22	利用者		水稲、山菜	2.3 ha	ha	水稲、山菜	2.3 ha	ha	22	
23	利用者		野菜	0.9 ha	ha	野菜	0.9 ha	ha	23	
24	認農		水稲、山菜	4.0 ha	ha	水稲、山菜	4.0 ha	ha	24	
25	利用者		山菜	0.5 ha	ha	山菜	0.5 ha	ha	25	
26	利用者		水稲、山菜	1.3 ha	ha	水稲、山菜	1.3 ha	ha	26	
27	利用者		水稲、山菜	2.6 ha	ha	水稲、山菜	2.6 ha	ha	27	
28	利用者		水稲、野菜	1.2 ha	ha	水稲、野菜	1.2 ha	ha	28	
29	利用者		水稲、果樹	1.4 ha	ha	水稲、果樹	1.4 ha	ha	29	
30	認農		水稲、そば	71.3 ha	ha	水稲、そば	71.3 ha	ha	30	

【目標地図】 朝日 田麦俣・大網地区 (田麦俣)



【目標地図】 朝日 田麦俣・大網地区（大網）



地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	鶴岡市 (06203)
地域名 (地域内農業集落名)	鶴岡_東岩本地区 (立岩、中入、越中山、谷口、中野新田、野中、漆原、沖田、北野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	236.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	236.0 ha
② 田の面積	168.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	68.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	21.6 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	21.6 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	
⑤のうち調整未了農地分 14.2ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】

作物:水稲・そば・ねぎ・沖田なす・小松菜・アスパラ・赤かぶ・ズッキーニ・かぼちゃ・孟宗・在来作物・行者にんにく・わらび・うるい・山菜全般・ぶどう・柿・梅・花き

【課題】

- ・耕作者の高齢化と担い手不足に加え、鳥獣被害も増加している。
- ・水路や圃場の維持管理の担い手確保も課題となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・将来にわたり農業生産活動等が可能となる集落内の実施体制構築のために、集落ごとに高付加価値型農業、担い手への農地集積、共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備等の目標を定めて目指していく。
- ・地域の所得向上等の観点から、現在生産しているものに加え、にんにく・こんにゃく・転作野菜・果樹・オリーブ・山椒・養鶏等に取り組む。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針 担い手を中心に農地集積していく。					
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	52.3	%	将来の目標とする集積率	55.1	%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標 団地面積の拡大。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組 地域内で新たな農地の貸付希望がある場合は、法人及び引受け希望の若手農業者と調整し、集積・集約を進めていく。
(2) 農地中間管理機構の活用方法 農地中間管理機構に貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、作業効率を上げる農地交換をする。
(3) 基盤整備事業への取組 多面的機能支払交付金対象組織の保全活動等により農地の保全に努め、集積しやすい環境を整備する。優先順位を決めて基盤整備に取り組む。畦畔を除去し田を広く活用できないか検討する。状態の悪い農地は基盤整備等再整備を進めていく。農地法面の崩壊を未然に防止するため、集落内の担い手を中心に定期的な点検を行う。作業道の設置、排水改良等簡易な基盤整備を行う。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組 他地域からの担い手やUターン者の受け入れを促進する。小規模経営の兼業農家などからも、受け手となっていた荒地荒廃農地の発生を抑える。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 作業の効率化が期待できる消毒作業などは委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①電気柵の設置・猟友会への連絡網の整備をする。
- ②この地域に合った作物で、有機・減農薬・減肥料にしていけるものを栽培し商品化を進める。
- ③ドローン・リモコン除草機の購入を検討する
- ⑤鳥獣被害のない柑橘類を栽培し、生産意欲の向上を図る。
- ⑧担い手の営農などを考慮し、農業用施設の整備を進める。
- ⑩燐炭を生産することにより肥料高騰に対応する。気候変動に応じた新しい作物を見つけていく。(オリーブ・山椒など)

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	47経営体		173.8 ha	0 ha		180.4 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4: 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

[illegible]

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	利用者	山菜、野菜	4.4 ha	ha	山菜、野菜	4.4 ha	ha	1	
2	認農	水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.9 ha	ha	2	
3	利用者	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	3	
4	利用者	水稲	1.0 ha	ha	水稲	1.0 ha	ha	4	
5	認農	水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	5	
6	利用者	水稲	1.7 ha	ha	水稲	1.7 ha	ha	6	
7	利用者	水稲	1.5 ha	ha	水稲	1.5 ha	ha	7	
8	利用者	水稲、果樹	0.9 ha	ha	水稲、果樹	0.9 ha	ha	8	
9	利用者	山菜、野菜	0.3 ha	ha	山菜、野菜	0.3 ha	ha	9	
10	利用者	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	10	
11	利用者	野菜	0.5 ha	ha	野菜	0.5 ha	ha	11	
12	利用者	水稲、果樹	3.4 ha	ha	水稲、果樹	3.4 ha	ha	12	
13	利用者	水稲	1.5 ha	ha	水稲	1.5 ha	ha	13	
14	利用者	水稲	1.2 ha	ha	水稲	1.2 ha	ha	14	
15	利用者	水稲	1.7 ha	ha	水稲	1.7 ha	ha	15	
16	認農	水稲、そば	8.2 ha	ha	水稲、そば	8.2 ha	ha	16	
17	利用者	水稲、野菜	1.1 ha	ha	水稲、野菜	1.1 ha	ha	17	
18	利用者	果樹	0.2 ha	ha	果樹	0.2 ha	ha	18	
19	認農	水稲、果樹	5.6 ha	ha	水稲、果樹	5.6 ha	ha	19	
20	利用者	水稲	1.6 ha	ha	水稲	1.6 ha	ha	20	
21	利用者	山菜、野菜	0.6 ha	ha	山菜、野菜	0.6 ha	ha	21	
22	認農	水稲、そば	6.2 ha	ha	水稲、そば	5.5 ha	ha	22	
23	利用者	水稲、そば	5.4 ha	ha	水稲、そば	5.5 ha	ha	23	
24	利用者	山菜	0.4 ha	ha	山菜	0.4 ha	ha	24	
25	利用者	野菜	0.8 ha	ha	野菜	0.8 ha	ha	25	
26	利用者	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	26	
27	利用者	水稲 野菜	3.2 ha	ha	水稲 野菜	3.2 ha	ha	27	
28	利用者	水稲	2.0 ha	ha	水稲	2.0 ha	ha	28	
29	利用者	水稲	2.4 ha	ha	水稲	2.4 ha	ha	29	
30	認農	山菜、野菜	3.5 ha	ha	山菜、野菜	3.7 ha	ha	30	
31	利用者	水稲 野菜	2.7 ha	ha	水稲 野菜	2.7 ha	ha	31	
32	利用者	山菜、野菜	0.4 ha	ha	山菜、野菜	0.4 ha	ha	32	
33	利用者	水稲	2.3 ha	ha	水稲	2.3 ha	ha	33	
34	利用者	水稲	3.3 ha	ha	水稲	3.3 ha	ha	34	
35	利用者	水稲	2.6 ha	ha	水稲	2.6 ha	ha	35	
36	利用者	そば、山菜	0.5 ha	ha	そば、山菜	0.5 ha	ha	36	
37	認農	水稲、そば	7.7 ha	ha	水稲、そば	7.7 ha	ha	37	
38	利用者	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	38	
39	利用者	野菜、果樹	0.4 ha	ha	野菜、果樹	0.4 ha	ha	39	
40	認農	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	40	
41	認農	水稲、野菜	16.0 ha	ha	水稲、野菜	17.7 ha	ha	41	
42	利用者	水稲	0.7 ha	ha	水稲	0.7 ha	ha	42	
43	認農	水稲、そば	9.2 ha	ha	水稲、そば	9.2 ha	ha	43	
44	認農	水稲、そば	64.1 ha	ha	水稲、そば	68.6 ha	ha	44	
45	認農	水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	45	
46	認農	水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.9 ha	ha	46	
47	認就	山菜、果樹	0.0 ha	ha	山菜、果樹	0.8 ha	ha	47	
48			ha	ha		ha	ha		
49			ha	ha		ha	ha		
50			ha	ha		ha	ha		

【目標地図】 朝日 東岩本地区

